

# 東邦大学大学院看護学研究科

## 博士前期課程

### 目次

I	博士前期課程 履修規程 .....	前-1
II	授業科目、単位数および学年配当 .....	前-3
III	教育課程 .....	前-7
IV	GPA 制度について .....	前-11
V	指導教員について .....	前-12
VI	研究指導計画書（研究実施経過報告書）について .....	前-13
VII	看護学特別研究（修士論文）について .....	前-14
VIII	修了までのプロセス .....	前-20

## I 博士前期課程 履修規程

(趣旨)

**第1条** 授業科目（以下科目という。）の履修方法等については、学則および東邦大学大学院規程（以下大学院規程という。）に定めるもののほかこの規程による。

(指導教員)

**第2条** 学生1名に対し、主として履修及び研究指導を行う主指導教員1名と、指導に補助的にかかわる副指導教員を若干名置く。

2 主指導教員は入学当初に学生からの申請をうけ、研究科委員会が承認し決定する。

3 副指導教員は1年次6月末日までに学生からの申請をうけ、研究科委員会が承認し決定する。

(必修科目)

**第3条** 修士論文課程の学生が専攻する看護研究法と各分野の看護学特別研究は、必修とする。

(履修登録)

**第4条** 学生は学年初めに履修しようとする科目について所定の期日までに履修登録しなければならない。

2 学生は、科目の選択、論文の作成及び研究一般について、指導教員の指導を受け承認を得るものとする。

(他の分野等の履修)

**第5条** 指導教員が必要と認めて、他の分野の科目を選択履修させた場合は、その科目を履修単位として認定することができる。

(成績の評価)

**第6条** 成績の評価は、毎学期ごとに筆記試験等により行う。

2 科目の成績評価は、秀・優・良・可・不可をもって評価し、秀・優・良・可を合格、不可を不合格とする。

3 学位論文及び最終試験は、合格または不合格をもって判定する。

(単位の授与)

**第7条** 前条2項の評価により合格した授業科目には、所定の単位を与える。

(追試験等)

**第8条** 事故又は病気等により、第6条第1項の試験を受けられなかった学生は、追試験を願い出ることができる。

2 追試験の願い出は、特別の事情のある場合を除き、当該科目の試験終了後、速やかにその理由（病気の場合は診断書を添付する。）を明記して、当該科目責任者に提出しなければならない。

3 科目責任者は、必要に応じて追試験を行うことができる。

(学位論文の提出)

**第9条** 博士前期課程において所定の科目を24単位以上修得した者又は修得見込みの者は修士論文を提出することができる。

(他の大学院等の授業科目の履修)

**第10条** 大学院規程第12条により、学生に他の大学院又は外国の大学院での授業科目の履修させた場合については、研究科委員会が認めた場合には、15単位を限度として単位認定する。

(入学前既修得単位の認定)

**第11条** 大学院規程第14条により、学生が本大学院に入学する前に大学院（外国の大学院を含む。）で修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）については、研究科委員会が認めた場合には、15単位を超えない範囲で単位認定する。

2 第10条及び前項の規定により認定することができる単位数は、併せて20単位を超えないものとする。

る。

(補足)

**第12条** 修士論文審査及び最終試験の判定が不合格となった者は、研究科委員会の承認を得て6か月後に再度評価を受けることができる。

## 附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

この規程は、一部改正（東邦大学大学院規程制定に伴う変更）のうえ、平成31年4月1日から施行する。

この規程は、一部改正（指導教員の運用、他の大学院の単位互換及び入学前の既修得単位の認定の柔軟化、入学前の既修得単位等を勘案した在学期間の短縮に係る改正）のうえ、令和3年4月1日から施行する。

この規程は、一部改正（成績評価に係る改正）のうえ、令和3年4月1日から施行する。ただし、令和2年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

この規程は、一部改正（他の大学院等の授業科目の履修、入学前既修得単位の認定に係る修正）のうえ、令和7年4月1日から施行する。

## Ⅱ 授業科目、単位数および学年配当

分野	授 業 科 目	単位数		修了 単位数	内 訳			履修時期			
		必修	選択		講義	演習	実験・ 実習	春学期	秋学期		
研 究	看護研究法	2		8	2			○			
	看護学特別研究	6					6	通年			
	高度実践看護実習		10					10	通年		
	助産学課題実習		6					6	通年		
	公衆衛生看護学課題研究		6					6	通年		
専 門 科 目	基礎看護 分野	基礎看護学特論Ⅰ		2	2			○			
		基礎看護学特論Ⅱ		2	2				○		
		基礎看護学演習Ⅰ		2			2			○	
		基礎看護学演習Ⅱ		2			2		○		
	性・生殖看護 分野	性・生殖看護学特論Ⅰ		2	各 分 野 8 単 位 を 含 む 12 単 位 以 上 ■ □	2			○		
		性・生殖看護学特論Ⅱ		2		2			○		
		性・生殖看護学演習Ⅰ		2				2		○	
		性・生殖看護学演習Ⅱ		2				2			○
		実践助産学特論		2		2			○		
		実践助産学演習		2				2		○	
		助産学特論Ⅰ		2		2			○		
		助産学特論Ⅱ		2		2			○		
		助産学特論Ⅲ		2		2			○		
		助産学特論Ⅳ		2		2			○		
		助産学特論Ⅴ		2		2			○		
		助産学特論Ⅵ		2		2			○		○
		助産学特論Ⅶ		2		2			○		○
		助産学特論Ⅷ		2		2			○		○
		助産学演習Ⅰ		2				2		○	
		助産学演習Ⅱ		2				2		○	
	臨床看護 分野	臨床看護学特論Ⅰ		2	2				○		
		臨床看護学特論Ⅱ		2	2					○	
		臨床看護学演習Ⅰ		2		2	2		○		
		臨床看護学演習Ⅱ		2			2			○	
		がん看護 分野	がん看護学特論Ⅰ		2	2				○	
			がん看護学特論Ⅱ		2	2					○
			がん看護学特論Ⅲ		2	2				○	
			がん看護学特論Ⅳ		2	2					○
がん看護学演習Ⅰ			2			2		○			
がん看護学演習Ⅱ			2			2			○		
がん看護学演習Ⅲ		2			2		○				

分野	授 業 科 目	単位数		修了 単位数	内 訳			履修時期		
		必修	選択		講義	演習	実験・ 実習	春学期	秋学期	
専 門 科 目	慢性看護分野	慢性看護学特論Ⅰ		2	各 分 野 8 単 位 を 含 む 12 単 位 以 上 ■ □	2			開講せず	
		慢性看護学特論Ⅱ		2		2				
		慢性看護学特論Ⅲ		2		2				
		慢性看護学特論Ⅳ		2		2				
		慢性看護学演習Ⅰ		2			2			
		慢性看護学演習Ⅱ		2			2			
		慢性看護学演習Ⅲ		2			2			
	クリティカルケア看護分野	クリティカルケア看護学特論Ⅰ		2		2			開講せず	
		クリティカルケア看護学特論Ⅱ		2		2				
		クリティカルケア看護学特論Ⅲ		2		2				
		クリティカルケア看護学演習Ⅰ		2			2			
		クリティカルケア看護学演習Ⅱ		2			2			
		クリティカルケア看護学演習Ⅲ		2			2			
		クリティカルケア看護学演習Ⅳ		2			2			
	高齢者看護分野	高齢者看護学特論Ⅰ		2		2			○	
		高齢者看護学特論Ⅱ		2		2				○
		高齢者看護学演習Ⅰ		2			2		○	
		高齢者看護学演習Ⅱ		2			2			○
	小児看護分野	小児看護学特論Ⅰ		2		2			○	
		小児看護学特論Ⅱ		2		2				○
		小児看護学特論Ⅲ		2		2			○	
		小児看護学特論Ⅳ		2		2				○
		小児看護学演習Ⅰ		2			2		○	
		小児看護学演習Ⅱ		2			2			○
		小児看護学演習Ⅲ		2			2		○	
	精神看護分野	精神看護学特論Ⅰ		2		2			○	
		精神看護学特論Ⅱ		2		2				○
		精神看護学演習Ⅰ		2			2		○	
精神看護学演習Ⅱ			2		2			○		

分野	授 業 科 目	単位数		修了 単位数	内 訳			履修時期		
		必修	選択		講義	演習	実験・ 実習	春学期	秋学期	
専 門 科 目	公衆衛生看護分野	公衆衛生看護学特論Ⅰ		2	2			○		
		公衆衛生看護学特論Ⅱ		2	2				○	
		公衆衛生看護学演習Ⅰ		2			2			○
		公衆衛生看護学演習Ⅱ		2			2		○	
		健康政策特論		1		1				○
		保健医療福祉システム特論		2		2				○
		保健医療福祉システム演習		1		1				○
		疫学特論		2		2				○
		公衆衛生看護学原論		2		2			○	
		公衆衛生看護活動展開論Ⅰ		2		2			○	
		公衆衛生看護活動展開論Ⅱ		2		2			○	
		公衆衛生看護活動展開論Ⅲ		2		2			○	
		地域健康危機管理特論		1		1				○
		地域健康危機管理演習		1		1				○
		継続事例支援演習		2		2			通年	
		公衆衛生看護管理特論		2		2			○	
		産業保健・学校保健特論		2		2			○	
		地区管理・組織支援演習		2		2			通年	
		地域診断・ケアシステム特論		2		2				○
		公衆衛生看護学実習Ⅰ		2				2		○
	公衆衛生看護学実習Ⅱ		2				2		○	
	公衆衛生看護学実習Ⅲ		2				2	○		
	国際保健 分野	国際保健学特論Ⅰ		2		2			開講せず	
		国際保健学特論Ⅱ		2		2				
		国際保健学演習Ⅰ		2			2			
		国際保健学演習Ⅱ		2			2			
	在宅看護 分野	在宅看護学特論Ⅰ		2		2			○	
		在宅看護学特論Ⅱ		2		2				○
		在宅看護学演習Ⅰ		2			2		○	
		在宅看護学演習Ⅱ		2			2			○
	感染制御看護 分野	感染制御看護学特論Ⅰ		2		2			開講せず	
		感染制御看護学特論Ⅱ		2		2				
		感染制御看護学特論Ⅲ		2		2				
		感染制御看護学特論Ⅳ		2		2				
		感染制御看護学演習Ⅰ		2			2			
		感染制御看護学演習Ⅱ		2			2			
感染制御看護学演習Ⅲ			2			2				
感染制御 分野	感染制御学特論Ⅰ		2		2			○		
	感染制御学特論Ⅱ		2		2				○	
	感染制御学演習Ⅰ		2			2			○	
	感染制御学演習Ⅱ		2			2		○		

各分野 8 単位を含む 12 単位以上



分野	授 業 科 目	単位数		修了 単位数	内 訳			履修時期	
		必修	選択		講義	演習	実験 ・ 実習	春学期	秋学期
共 通 科 目	看護理論 ☆		2	10 単 位 以 上 ● ○	2				○
	看護倫理 ☆		2		2			○	
	看護教育論 ☆		2		2			○	
	看護管理 ☆		2		2			○	
	疾病学特論		2		2				○
	看護英語論文通読		2		2			○	
	医療言語論		2		2				○
	心理学研究特論		2		2				○
	社会学研究特論		2		2			○	
	生殖医学特論		2		2			○	
	性科学特論		2		2			○	
	看護コンサルテーション論 ☆		2		2			○	
	看護政策特論 ☆		2		2				○
	看護フィジカルアセスメント論 ★		2		2		2		○
	臨床病態生理学特論 ★		2		2	2			○
	臨床薬理学特論 ★		2		2	2			○
	共生社会と医療		2		2	2			○
	多職種連携・協働演習		2		2		2		○
	看護専門職連携演習		2		2		2		○
	看護医療経済学		2		2	2			○
保健統計特論		2	2	2			○		
合 計		8	274		—	—	—		

- \* 専門科目については、専門分野から特論Ⅰ・Ⅱの4単位、演習Ⅰ・Ⅱの4単位を含む合計8単位以上を選択すること。
- \* ☆は高度実践看護師教育課程（がん看護分野・小児看護分野）のCNS共通科目Aとし、6科目から6単位以上を選択すること。
- \* ★は高度実践看護師教育課程（がん看護分野・小児看護分野）のCNS共通科目Bとし、この3科目6単位を必ず履修すること。
- \* ■助産師国家試験受験資格取得希望者は、性・生殖看護学特論Ⅰ・Ⅱ、性・生殖看護学演習Ⅰ・Ⅱ、実践助産学特論、実践助産学演習、助産学特論Ⅰ～Ⅷ、助産学演習Ⅰ・Ⅱ、助産学実習Ⅰ～Ⅳの44単位を履修すること
- \* □保健師国家試験受験資格取得希望者は、公衆衛生看護学特論Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生看護学演習Ⅰ・Ⅱ、健康政策特論、保健医療福祉システム特論、保健医療福祉システム演習、疫学特論、公衆衛生看護学原論、公衆衛生看護活動展開論Ⅰ～Ⅲ、地域健康危機管理特論、地域健康危機管理演習、継続事例支援演習、公衆衛生看護管理特論、産業保健・学校保健特論、地区管理・組織支援演習、地域診断・ケアシステム特論、公衆衛生看護学実習Ⅰ～Ⅲの40単位を履修し、他分野から4単位以上の合計44単位以上を履修すること。
- \* ●助産師国家試験受験資格取得希望者は、性科学特論、生殖医学特論は選択必修とする。
- \* ○保健師国家試験受験資格取得希望者は、看護医療経済学、保健統計特論は選択必修とする。

## Ⅲ 教育課程

### 博士前期課程修了要件

1. 博士前期課程においては、2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で修士論文を提出し、その審査と最終試験に合格すること。
2. 高度実践看護師教育課程においては、2年以上在学し、38単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で課題研究論文を提出し、その審査と最終試験に合格すること。課題研究論文の審査を以て、修士論文の審査に代えることができる。
3. 実践助産学課程においては、2年以上在学し、「助産師コース」は62単位以上、「臨床実践コース」は30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で修士論文もしくは課題研究論文のいずれかを提出し、その審査と最終試験に合格すること。課題研究論文の審査を以て、修士論文の審査に代えることができる。
4. 高度実践公衆衛生看護学課程（保健師コース）においては、2年以上在学し、62単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で課題研究論文を提出し、その審査と最終試験に合格すること。課題研究論文の審査を以て、修士論文の審査に代えることができる。

### 学位

修士（看護学）

#### 1. 博士前期課程

研究能力を育成し実践に役立てる目的で、看護学特別研究を行い、修士論文を作成する課程

修了要件：30単位

#### 【履修方法】

##### 研究（8単位）

看護研究法 2単位

看護学特別研究 6単位

##### 専門科目（12単位以上）

- ・専攻分野から特論4単位、演習4単位は必修。
  - ・他分野の科目からは、特論Ⅰ・Ⅱのみ選択可能。
- ※専攻分野と選択分野の教員の了解を事前に得ること。

##### 共通科目（10単位以上）

21科目から10単位以上を選択。

## 2. 高度実践看護師教育課程（がん看護分野・小児看護分野）

卓越した専門職業人を目指し、高度な専門性のある看護実践者を育成する課程

修了要件：38 単位

### 【履修方法】

#### 研究（12 単位）

看護研究法 2 単位

高度実践看護実習 10 単位

※必修の看護学特別研究にかえて高度実践看護実習を履修すること。

#### 専門科目（14 単位以上）

各分野の専門 7 科目（特論 I～IV、演習 I～III）は必修。

#### 共通科目（12 単位以上）

- ・ CNS 共通科目 A（6 単位）（以下の 6 科目から 3 科目以上を選択）

看護理論

看護倫理

看護教育論

看護管理

看護コンサルテーション論

看護政策特論

- ・ CNS 共通科目 B（6 単位）（以下の 3 科目を全て履修）

看護フィジカルアセスメント論

臨床病態生理学特論

臨床薬理学特論

### 3. 実践助産学課程

高度な周産期医療における問題解決能力、助産実践能力を身につける助産教育を行う課程

#### 1) 助産師コース（助産師国家試験受験資格の取得） 修了要件：62 単位

##### 【履修方法】

##### 研究（8 単位）

看護研究法 2 単位

看護学特別研究 6 単位

※必修科目「看護学特別研究」6 単位にかえて、「助産学課題実習」6 単位を履修することができる。

##### 専門科目（性・生殖看護分野）（44 単位以上）

性・生殖看護学特論Ⅰ・Ⅱ、性・生殖看護学演習Ⅰ・Ⅱ、実践助産学特論、実践助産学演習、助産学特論Ⅰ～Ⅷ、助産学演習Ⅰ・Ⅱ、助産学実習Ⅰ～Ⅳ の 44 単位をすべて履修。

##### 共通科目（10 単位以上）

21 科目から 10 単位以上を選択。

生殖医学特論、性科学特論は選択必修。

#### 2) 臨床実践コース 修了要件：30 単位（※開講せず）

##### 【履修方法】

##### 研究（8 単位）

看護研究法 2 単位

看護学特別研究 6 単位

※必修科目「看護学特別研究」6 単位にかえて、「助産学課題実習」6 単位を履修することができる。

##### 専門科目（性・生殖看護分野）（12 単位以上）

性・生殖看護学特論Ⅰ・Ⅱ、性・生殖看護学演習Ⅰ・Ⅱ、実践助産学特論、実践助産学演習 の 6 科目をすべて履修。

##### 共通科目（10 単位以上）

21 科目から 10 単位以上を選択。

心理学研究特論、社会学研究特論は選択必修。

#### 4. 高度実践公衆衛生看護学課程（保健師コース）

実践力、研究力、マネジメント力を有する、高度な専門性のある保健師を育成する課程

修了要件：62 単位（保健師国家試験受験資格の取得）

##### 【履修方法】

##### 研究（8 単位）

看護研究法 2 単位

看護学特別研究 6 単位

※必修科目「看護学特別研究」6 単位にかえて、「公衆衛生看護学課題研究」6 単位を履修することができる。

##### 専門科目（公衆衛生看護分野）（44 単位以上）

保健師国家試験受験資格取得希望者は、公衆衛生看護学特論Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生看護学演習Ⅰ・Ⅱ、健康政策特論、保健医療福祉システム特論、保健医療福祉システム演習、疫学特論、公衆衛生看護学原論、公衆衛生看護活動展開論Ⅰ～Ⅲ、地域健康危機管理特論、地域健康危機管理演習、継続事例支援演習、公衆衛生看護管理特論、産業保健・学校保健特論、地区管理・組織支援演習、地域診断・ケアシステム特論、公衆衛生看護学実習Ⅰ～Ⅲの 40 単位を履修し、他分野から 4 単位以上の合計 44 単位以上を履修すること。

##### 共通科目（10 単位以上）

21 科目から 10 単位以上を選択。

保健師国家試験受験資格取得希望者は、看護医療経済学、保健統計特論は選択必修とする。

## IV GPA 制度について

- ・2022 年度以降の入学生から GPA 制度が運用される。GPA 対象授業科目は本学の博士前期課程で開講する全ての授業科目である。GPA は本学が指定した期日までに確定した成績に基づいて算出され、履修を放棄した科目の成績は不可として扱われる。

《グレード・ポイント（評価により与えられる数値。以下「GP」という。）》

評語		GP
秀	S	4
優	A	3
良	B	2
可	C	1
不可	F	0

《GPA の計算方法及び種類》

計算値は小数点以下第三位を四捨五入し、第二位までを表記する。

$$\text{GPA} = \frac{\text{S の単位数} \times 4 + \text{A の単位数} \times 3 + \text{B の単位数} \times 2 + \text{C の単位数} \times 1}{\text{(履修登録単位数(不可 F を含む))}}$$

## V 指導教員について

- ・指導教員とは、看護学特別研究の指導ができる教員である。
- ・原則として、各学生につき主として履修および研究等を指導する主指導教員1名と、指導に補助的にかかわる副指導教員を若干名定める。
- ・主指導教員は入学当初に学生からの「指導教員希望届」の提出をもって、研究科委員会が決定する。
- ・学生は主指導教員と、副指導教員について相談し、「指導教員希望届」を1年次6月末までに提出する。その後、研究科委員会で副指導教員を決定する。
- ・「指導教員希望届」の様式は、教育ポータルよりダウンロードすること。
- ・主指導教員の役割は、学生が行う研究テーマの決定、関連研究調査、研究の進め方、研究結果の評価、研究成果の発表、学位論文の作成等、研究全般にわたって指導を行う。主指導教員は、学生の研究計画及び希望に配慮して、副指導教員を選定するとともに、副指導教員と適宜相談しながら研究指導をすすめる。
- ・副指導教員の役割は、半年に一度程度は学生と面談（オンライン・メール等でも可）し、研究進捗状況の評価や助言を行うとともに、論文作成指導の補助を行う。

## VI 研究指導計画書（研究実施経過報告書）について

東邦大学大学院規程第 11 条 2 項「学生に対して、研究指導の方法及び内容の計画をあらかじめ明示するものとする」に基づき、「研究指導計画書（研究実施経過報告書）」の作成・運用を以って、研究指導が適切に実施されていることを確認し、学生及び教員の双方で、研究の進捗を確認する。

- ・学生は、指導教員と相談しながら、「研究指導計画書（研究実施経過報告書）」を作成する。
- ・「研究指導計画書（研究実施経過報告書）」および記載例は教育ポータルからダウンロードする。

### 【学生】

#### (1) 6 月末日までに

- ・学生は、指導教員と面談を行い、年間計画をたてる。

※ 1 年次は入学年度 6 月末日までに学事課大学院担当者に提出する。

※ 2 年次以上の学生で、新たな履修科目等がある場合や、研究計画に変更等があり、指導計画等も付随して変更が生じる場合には、「研究指導計画書（研究実施経過報告書）」を記載し、指導教員と相談のうえ、適宜、研究指導計画を変更する。

#### (2) 各学年 7～9 月頃

- ・学生は、「研究指導計画書（研究実施経過報告書）」を評価・修正し、指導教員と面談を行い、進捗状況を確認する。

※ 秋学期の休学・退学願を提出する学生は、春学期までの「研究指導計画書（研究実施経過報告書）」を評価・修正し、指導教員と面談を行い、進捗状況の確認を受け、9 月末日までに学事課大学院担当者に提出すること。3 月下旬の提出は不要である。

#### (3) 3 月下旬まで \*最終年次は学位論文提出時期まで

- ・学生は、各年次の終了時（修了予定の最終年次は学位論文提出時期まで）に、「研究指導計画書（研究実施経過報告書）」を評価・修正し、指導教員と面談を行い、進捗状況の確認を受け、学事課大学院担当者に提出する。

### 【指導教員】

(1) 学生と相談し年間計画をたて、「研究指導計画書（研究実施経過報告書）」をもとに定期的に面談し、進捗状況を確認、修正を行う。

(2) 「研究指導計画書（研究実施経過報告書）」をもとに面談を行った際には、適宜コメントを記載する。

(3) 主指導教員と副指導教員は、適宜相談しながら研究指導をすすめる。

## Ⅶ 看護学特別研究（修士論文）について

### 1. 修士論文研究計画書

\*課題研究論文を作成する場合は、研究計画書の審査を実施しないため、1)～3)は実施しなくてよい。  
研究計画書は指導教員へ提出すること。

#### 1) 研究計画書審査担当教員希望

- ・院生は主指導教員に申し出、主指導教員は研究計画書提出締切日の1か月前（前月15日）までに、「研究計画書審査担当教員希望届」を提出する。その後、研究科委員会の承認をもって審査委員会を設置する。
- ・なお、主指導教員は審査委員会の主査となることはできない。

#### 2) 提出

- ・研究計画書の提出は1年次、秋学期以降の提出を認める。ただし、「看護研究法」を履修済みであること。
- ・締切日までに、以下を学事課大学院担当者に提出し、受領書を受け取る。
  - ①「研究計画書審査申請書」 1部
  - ②修士論文研究計画書 審査担当教員数+事務保管用1部の合計部数
    - ・「研究計画概要」
    - ・修士論文研究計画書（審査用）
- ・修士論文研究計画書は各自が用意したファイルに綴じて提出すること。
- ・各様式は、教育ポータルよりダウンロードすること。

#### 3) 研究計画書審査

- ・研究計画書審査会は、研究計画書提出月の設定日に行う。審査日時・場所は、教育ポータルより連絡する。
- ・研究計画書審査会の所要時間はおよそ45分（発表15分、質疑応答30分）とする。
- ・主査1名、副査2名～3名による審査委員会の審査を受ける。審査後は、指導教員のもとで指摘箇所を修正し、主査・副査の確認を受ける。合格となった修正研究計画書1部を、学事課大学院担当者へ提出する。
- ・研究計画書審査結果は、研究科委員会にて承認を受ける。
- ・研究計画書の審査結果の主査による研究科委員会への報告は、研究計画書の提出から半年程度を期限とする。

#### 4) 倫理審査の申請

- ・研究計画書合格通知を受け取った後に倫理審査の申請をする。倫理審査は、全員が東邦大学看護学部倫理審査委員会に審査申請することとする。

## 2. 執筆ガイドライン

研究計画書ならびに学位論文を作成するにあたり、論文執筆の上で参考となるガイドラインを下記に記す。原則的に米国心理学会（American Psychological Association, APA）が発行している『Publication Manual of the American Psychological Association, The Official Guide to APA Style 7th ed.』（2019）／『APA 論文作成マニュアル第3版』（2023）[医学書院]に準拠するが、専門領域などの学術誌の投稿規程の執筆ガイドラインを参考に作成することも認める。各自確認し、執筆すること。

### 1) 論文の主な構成

目次

研究の背景（理論的背景、目的、意義など含む）

文献検討

研究方法（依頼手順、選定方法、分析方法・信頼性と妥当性、倫理的配慮など含む）

結果

考察

結論

引用文献

図表（本文中に挿入しても良い）

添付資料（依頼状、同意書、質問紙、インタビューガイドなど含む）

### 2) 執筆要領

- (1) 原稿はA4サイズ of 用紙を使用し縦置き横書きとする。書式は上下・左右余白ともに25mm程度とし、文字サイズは10.5ポイント以上、1頁40字×35行程度とする。フッター中央にページ番号を入れる。片面印刷で準備する。
- (2) 原稿は日本語、もしくは英語を用いる。なお、日本語の場合は現代仮名遣いに従い、原則として常用漢字を用いる。文体は「である調」を基本とする。句読点は、日本語では「、」「。」、英語では「,」「.」で統一する。
- (3) 数字は算用数字を用い、単位や符号は慣用のものを用いる。本文や図表中（文献は除く）で用いられる数字および欧文については、原則として半角文字を使用する。
- (4) 外来語はカタカナで、外国人名などと日本語訳が定着していない学術用語などは原則として原語で記載する。

- (5) 論文の構成をわかりやすく提示するために見出しを階層化する。第1階層は論文タイトルで、見出しに数字やアルファベットを付けない。第2階層以下は、見出しに付ける数字・記号、およびピリオドは全角を使用する。

第1階層	論文タイトル
第2階層：Ⅰ．Ⅱ．Ⅲ．	中央揃え
第3階層：1． 2． 3．	左端揃え
第4階層：1) 2) 3)	上位の見出しより1字下げる
第5階層：(1) (2) (3)	上位の見出しより1字下げる

- (6) 図表は、図1、表1、などと番号をつけ、本文中の該当箇所に図書番号を示す。表のタイトルは表本体の上、図のタイトルは図本体の下とする。

3) 表紙・背表紙の書式

N M ○ ○ ○ ○ ○ ○ 東邦花子 ○月○日提出	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">年 月 日</div> <p>○年度東邦大学大学院看護学研究科 看護学専攻修士論文 研究計画書</p> <p>論文題目</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin: 5px 0;"></div> <p>指導教員</p> <p>主査: ○○ ○○ 副査: ○○ ○○ 副査: ○○ ○○</p> <p>学籍番号 NM○○○○○ 氏 名 ○○ ○○</p>	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">年 月 日</div> <p>○年度東邦大学大学院看護学研究科 看護学専攻修士論文</p> <p>論文題目</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin: 5px 0;"></div> <p>指導教員</p> <p>主査: ○○ ○○ 副査: ○○ ○○ 副査: ○○ ○○</p> <p>学籍番号 NM○○○○○ 氏 名 ○○ ○○</p>
--	--	--

### 3. 倫理審査

- ・研究倫理審査は、東邦大学看護学部倫理審査委員会へ提出し審査を受ける。
- ・看護学部倫理審査の手続きならびに申請書に関しては、看護学部ホームページの「看護学部倫理審査委員会」を参照すること。
- ・東邦大学看護学部倫理審査委員会は、8月および3月は開催しない。
- ・3病院で大学院生が研究を実施する場合の手続きは以下のとおりである。
  - ①研究計画立案時に、主指導教員が当該病院の看護部に「共同研究者」の推薦を依頼する。
    - ※この共同研究者はデータ管理上のものであり、論文執筆者には含めない。
  - ②研究計画審査に合格したのち、倫理審査申請を行う。このとき、研究倫理審査申請書の共同研究者の欄に看護部から推薦された「共同研究者」の所属、職名、氏名を記載する。
  - ③倫理審査の承認後、看護部から推薦された「共同研究者」に倫理審査委員会の所定の書類（様式20）の作成を主指導教員から依頼する。
  - ④所定の書類（様式20）と研究計画書を「共同研究者」からデータ収集機関の長である病院長に提出する。
  - ⑤病院長の許可を得たのちに、研究を実施する。

#### 4. 修士論文

\*実践助産学課程、高度実践公衆衛生看護学課程（保健師コース）ならびに高度実践看護師教育課程の課題研究論文に関しても、原則としてこれに準ずる。なお各種締切日については日程表を確認すること。

\*9月修了希望者の締切日等については日程表を確認すること。

##### 1) 学位論文審査担当教員希望

- ・院生は主指導教員に申し出、主指導教員は論文提出の2か月前の月末までに、「学位論文審査担当教員希望届」を提出する。その後、研究科委員会の承認をもって審査委員会を設置する。
- ・なお、主指導教員は審査委員会の主査となることはできない。

##### 2) 修士論文提出

- ・修士論文提出年度の締切日までに、以下を学事課大学院担当者に提出し、受領書を受け取る。

①「学位論文審査申請書」（前期様式1） 1部

② 修士論文 審査担当教員数＋事務室保管用1部の合計部数

以下をファイルすること。

- ・「論文目録」（前期様式2） ※申請者の欄には必ず本人が署名する。
- ・「修士論文要旨」（前期様式3）
- ・修士論文（審査用）
- ・修士論文は各自が用意したファイルに綴じて提出すること。
- ・各様式は、教育ポータルよりダウンロードすること。

##### 3) 修士論文審査および最終試験

- ・日程表に定める設定日に修士論文審査および最終試験を行う。審査日時・場所は、教育ポータルに実施要項を掲載する。
- ・学位論文審査会の所要時間はおよそ45分（発表15分、質疑応答30分）とする。
- ・審査後は、指導教員のもとで指摘箇所の修正を行い、主査・副査の確認を受ける。修正論文1部を締切日までに、学事課大学院担当者へ提出する。
- ・学位論文審査結果は、大学院修了判定会議（研究科委員会）にて承認を受ける。
- ・保存用の学位論文は、審査に合格後、各自製本する。学事課で受領後、看護学部図書館にて保管する。論文製本の印刷業者は特に指定しない。

##### 4) 大学院論文発表会

- ・修士論文審査および最終試験合格後、日程表に定める日時に一般公開にて実施する。
- ・発表会は大学院生が運営する。

## 5) 研究データの保管

- ・人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針の6章第13の「研究に係る試料および情報等の保管」に基づき、論文発表会終了後に研究に係る試料および情報等を電子データ化し、学事課に保管してある記憶媒体に、学籍番号のフォルダを作成して保存する。

### \*データ提出時の注意事項

- ・外部情報源（外部フォント等）を参照していないこと（フォントを埋め込んだファイルとすること）。
- ・暗号化、パスワードの設定、印刷制限等を行わないこと（文書を開くパスワードの設定および印刷を制限するパスワードの設定は行わないこと）。

## 6) 学位授与決定後の提出物

- ・3月末日17時までに学事課大学院担当者に以下を提出する。
  - ①製本論文 1部
  - ②研究指導計画書 1部
  - ③修士論文・課題研究論文公開・複写・電子的公開許諾書 1部
    - ※電子的公開を可とする場合は論文の電子データも提出すること。
  - ④研究報告 倫理審査研究報告フォーム (<https://forms.gle/62d9JGdKpH4HmeJK8>) にて提出
    - ※期日までに送信することで提出完了とみなす。

## 7) 公表

- ・原則として1年以内に学術雑誌等への投稿により、論文を広く公表するものとする。

## 5. 研究者倫理に関する研修

- ・大学院生は、東邦大学 e-APRIN（コンプライアンス教育プログラム）（看護学研究科大学院生用コース）、および倫理講習ストリーミング・ビデオ（医学部倫理審査委員会 作成）の受講および、看護学部倫理審査委員会作成の倫理審査申請のための資料の確認が必須である。各研修の修了日が、倫理審査申請時点で1年以内であることを確認のうえ申請すること。

## 6. その他

- ・各締切日について、締切当日が土曜、日曜、祝日等に重なる場合は変更することがある。日程表を確認すること。
- ・研究にかかる費用は個人負担とする。

## Ⅷ 修了までのプロセス

年次	月	修士論文コース	高度実践看護師教育課程	実践助産学課程	高度実践公衆衛生看護学課程	長期履修コース		
			CNSコース (課題研究論文)	助産師コース (課題研究論文)	保健師コース (課題研究論文)			
1	4月		指導教員希望届提出・履修登録 <sup>*1</sup>					
	6月 末日		副指導教員希望届提出					
	10月 以降	指導教員に申し出、 「研究計画書審査担当教員希望届」 を提出 (審査1ヶ月前まで)	研究計画書を作成し、 指導教員に提出する	研究計画書を作成し、 指導教員に提出する	研究計画書を作成し、 指導教員に提出する	指導教員に申し出、 「研究計画書審査担当教員希望届」 を提出 (審査1ヶ月前まで)		
		研究計画書提出 <sup>*2</sup> (1月・3月・5月・7月・9月・11 月)				研究計画書提出 <sup>*2</sup> (1月・3月・5月・7月・9月・11 月)		
		研究計画書審査会  看護学研究科委員会 からの研究計画書 合格承認  倫理審査	倫理審査	倫理審査	倫理審査	研究計画書審査会  看護学研究科委員会 からの研究計画書 合格承認  倫理審査		
2	9月 末日			指導教員に申し出、 「学位論文審査担当教員希望届」 を提出 (審査2か月前の月末まで)	指導教員に申し出、 「学位論文審査担当教員希望届」 を提出 (審査2か月前の月末まで)			
	11月	指導教員に申し出、 「学位論文審査担当教員希望届」 を提出 (審査2か月前の月末まで)	指導教員に申し出、 「学位論文審査担当教員希望届」 を提出 (審査2か月前の月末まで)	課題研究論文提出	課題研究論文提出			
	12月			課題研究論文審査 および最終試験	課題研究論文審査 および最終試験			
	1月	修士論文提出	課題研究論文提出					
	2月	論文審査および 最終試験	課題研究論文審査 および最終試験	国家試験	国家試験			
				修了判定				
				論文発表会				
	3月			学位記授与式				
	3	11月末 日					指導教員に申し出、 「学位論文審査担当教員希望届」 を提出 (審査2か月前の月末まで)	
		1月					修士論文提出	
2月						論文審査および 最終試験		
				修了判定				
				論文発表会				
3月			学位記授与式					

\*1 指導教員と相談して科目を選択し、履修登録する。2年次以降も同様に学年初めの所定の期日までに登録する。

\*2 「看護研究方法」を履修済みであること